



# 市民ネットワーク議会通信

編集・発行  
市民ネットワーク

千葉市美浜区高洲3-20-45  
細矢ビル403号  
Tel&Fax 043-379-4958  
http://shimin-network.jp/



2021(令和3)年 千葉市議会第2回定例会 6月4日～23日

## 補正予算58億5,500万円で新市長の公約が実現

山田京子(若葉区)が当選後、初の定例議会でした。神谷市長が選挙時に掲げていた公約のうち、第3子以降の学校給食費無償化や習いごとの利用促進、農業振興の予算、また、新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備予算等がつかしました。さらに最終日には、ワクチン接種対象が拡大されることに伴う経費や、コロナによる生活困窮者自立支援金支給など、19億3,300万円の予算が追加となりました。



山田京子 (若葉区) 松井かよ子 (美浜区) 岩崎明子 (若葉区)

### 主な議案に対する 市民ネットワークの意見・要望

#### ワクチン接種の有無で 差別が起きないように

体質に合わないなどの理由で、新型コロナウイルスワクチンの接種をしない人もいます。接種は強制ではないため、学校行事や職場研修などの参加に「ワクチン接種」を条件とすることがないように、また差別やいじめが起きないようにすることを市に求めました。

#### 就職氷河期世代が 職場に定着できる支援を

新職種に挑戦する35～50歳の求職者を正規雇用につなげるため、新たにセミナーや職場体験を行います。しかし就職はあくまでもスタートであり、勤め続けるためにはスキルアップ研修や、メンタルケアも行うべきと主張しました。

#### 感染リスクが高い人の PCR検査に補助を

市は高齢・障害者施設等の従事者や、接待を伴う飲食店従業員に対し、PCR検査を行っていただきます。これらはクラスター発生リスクが高いと判断されたための措置ですが、例えば通院同行支援をしているNPOのスタッフは、感染リスクが高くても検査対象になつていません。検査が受けられる対象を広げるよう要望しました。

#### 女性が社会とつながれる 支援を継続的に

社会から孤立して不安を抱えている女性にむけて、相談や訪問型支援等をおこなう新しい体制ができます。委託事業者と市が積極的に連携し、国の補助制度がなくなっても事業を継続するよう求めました。

#### 小規模農業者が 持続可能な千葉市に

若葉区にある農政センターを、企業の持つ最新技術を使った「スマート農業」実証実験を行う場にする予算がつかしました。資金力のある大企業や大規模農業者だけでなく、小規模農業者への支援こそ充実させることを求めました。

#### 学校は地域とチームに なっていじめに対処を

平成24年に市立小学校で起きたいじめに係る損害賠償請求控訴事件で、千葉市と加害児童の保護者が損害賠償金を支払うことになりました。現在も増え続けるいじめに対し、学校と地域の大人たちがチームになって取り組むこと、第三者機関に通報できる仕組みを検討することなどを求めました。



## 今年度の3人の所属委員会が決まりました

委員会の議案審議から

### 総務委員会 ふるさと納税の リニューアル

千葉市民が他の自治体へふるさと納税をおこなうことで、本市に入る税金は減ります。令和元年は6億円の赤字となりました。

#### 寄附を増やすために

市は「返礼品競争には与しない」を基本姿勢としつつ、返礼品の提供に必要な寄附金額を「一律5万円以上」から「最低5千円程度」に引き下げます。同時に、地元の特産品を発掘し返礼品とすることで、事業者の支援や地域の活性化につなげます。

#### 魅力的な返礼品を

総務省告示では地場産品の基準を「返礼品等の原材料の主要な部分が生産されたものであること」としています。例えば学校給食でおなじみの「ちはなちゃんゼリー」は市外の工場加工していますが、千葉市産のにんじんが原材料なので基準に合っています。市民からの口コミなど、積極的な情報収集につとめ、魅力的な返礼品を発掘するよう求めました。(松井かよ子)



### 教育委員会 紙おむつ処理への補助

これまで、保護者が持ち帰っていた使用済み紙おむつを、10月から民間保育園でも引き取って処理することとし、その経費を国・県・市で3等分します。保護者や保育園の負担軽減になると評価しました。



### フリースクール補助

不登校児童生徒が利用しているフリースクールが使う学習活動の充実にかかる経費及び施設借り上げ料(上限50万円まで)を市が単独で2021年7月から補助します。様々なフリースクール等があるので、形にとらわれずに柔軟に補助対象とすることを要望しました。

### 第3子以降の学校給食が無償に

3子以上を扶養し、かつ第3子以降が千葉市立の義務教育諸学校で給食の提供を受けている児童生徒の保護者を対象として、2022年1月分から給食費を無償とします。1～3月分の予算は1億3,300万円になります。経費削減を理由に、食材の質や安全性を低下させないよう要望しました。(山田京子)

### 保健委員会 がん患者のウィッグと 療養生活支援

がん患者が不安なく社会生活を送れるよう、ウィッグ購入費用助成と40歳未満対象の在宅療養生活支援をおこないます。今後も当事者の声を聞き、その他必要な支援へも助成を拡げることを求めました。

### 墓地の面積基準が廃止に

市民への「お墓に関するアンケート」では、2㎡未満の墓地を希望する人が増えていたことから、既存の墓地に設定されていた面積基準を廃止します。墓地に対するニーズは時代によって変化することから、これからは市民の声を聞きながら需要にこたえる取り組みを進めるよう要望しました。



### 青葉病院のX線血管造影装置を更新

3月下旬に不具合で停止した医療機器を更新するため、企業債(借金)で購入費用1億4千万円を確保しました。急な故障で患者に不便をかけるまいと、計画的に機器の更新をすすめることを求めました。(岩崎明子)

# 新しい海浜病院はどうなる？

2025年開院予定の新病院(美浜区・県立幕張総合高校の東側)について、計画づくりがおこなわれています。病気やけがで不安な気持ちの患者が、落ち着いて治療を受けられる環境は重要です。そこで、「ボランティアの受け入れ」「図書の実室」「作品展示や草花の鑑賞スペース」「ミニコンサートなどの交流スペース」「コンビニなどの利便施設の設置」「小児患者への付き添い」「オンライン環境の整備による面会」「院内学級の充実」について質問し、今後の方向性について要望をおこないました。



# 太陽光パネルの設置にルールを

太陽光発電はCO2を出さない、身近な自然エネルギーとして各地で導入がすすんでいます。ところが、住宅の目の前に突然設置されるなどの問題が生じています。

太陽光発電事業の実施にあたっては、「工事の安全性や環境に関する懸念について、住民の理解を得る必要があります。事業者が丁寧な説明を行うことにより、地域との信頼関係を構築することが重要」と市も認識しています。2018年に条例をつかった神戸市にならって、太陽光発電施設の設置に関する条例の制定を求めました。



# 入札情報の公開を

市では原則、予定価格100万円以上の案件について、事前に委託の概要などを公表し、入札参加者を募る希望型指名競争入札を導入しています。ところが、局によっては、公募の案件のみホームページで公表し、それ以外のは窓口での閲覧とのこと。情報が広く市民の目に触れることはありません。

1,000万円を超えるなど、発注予定価格が大きい入札は、随意契約、指名競争入札であっても、ホームページでその結果と理由を公表し、市民に対して、広く市の考え方を示すよう検討を求めました。

# 公立夜間中学のあり方は市民参加で

市立の夜間中学を、2023年4月に真砂中学校分校として美浜区に開設することになりました。2022年4月に公立夜間中学を開校する札幌市教育委員会は、昨年、検討委員会を設置し、その議論を受けて本年3月に「札幌市公立夜間中学設置基本計画」を発表しています。

千葉市でも札幌市にならって市民が参加する「協議会」を設置して課題を議論し、学習内容から給食の提供や図書の貸し出しといった教育環境にいたるまで、広く意見交換する場を設けるよう要望しました。



山田京子  
松井かよ子

# 行政に現状や今後の見通しを問う

# 一般質問

# まちなかベンチの設置は市民参加で

千葉市は2019年4月にベンチ設置計画を発表し、今年3月末までに、駅前広場のバス停ベンチのうち設置可能な71カ所の設置が終わっています。千葉駅などで、ご覧になったのではないのでしょうか(写真)。



次のステップとして、駅と公共施設などを結ぶ生活関連経路上のベンチを設置し始めています。2026年度末までに計365基をめざしているとのこと。

しかし、これらについては、市民の声を聞く機会を作らずに進めており、本当に使う立場の視点から置かれているのか疑問です。

今後は、地元の声、例えば自治会や社会福祉協議会地区部会、公募市民によるワークショップなどを通じて、地域住民のニーズに沿った設置となるよう求めました。

# 縮小を迫られる社会教育施設の今後

若葉区では、若葉図書館と千城台公民館の千城台南小学校跡地への移転が決まり、花見川区では、老朽化した花見川図書館とこてはし台公民館の複合化が予定されています。少子超高齢化、人口減少の時代にあり、税収が減ることから、公共施設の再整備にあたって縮小は必須ということです。

私たちは、子や孫の世代に過重な負担を押しつたくはありません。従って、その方針はある程度の理解はできるものの、市民の力を育む社会教育の場はただいたずらに縮小して良いわけではありません。

全体を見て、何を減らし、何は残すのかを「市民と一緒に」考えるべきではないでしょうか。市はもっと早い段階で情報を公開して、共に市の将来を考える機会を積極的に作るべき、と訴えました。

# 障がいがあっても無くても一緒にあ・そ・ぼ〜「インクルーシブ公園」を千葉市にも!

昨年3月、世田谷区の砧公園に「みんなのひろば」ができました。障がいがあっても無くても一緒に遊べる遊具(写真)を備えた、いわゆる「インクルーシブ公園」です。



どんな子どもでも遊びを楽しむ権利をもっており、成長過程に、色々な子ども同士の繋がりは欠かせません。

千葉市にもぜひほしいと思い、障がいがあるお子さんのママさんたちからの聞き取りをして、願いを質問の形で市に届けました。

市は利用者のニーズ調査や先行した他都市の公園の現地調査に取り組むとの答弁でした。

予算が付いて、遊具が置かれればそれで充分とはいえません。当事者や地域の人たちが共に公園の計画を作り上げていく過程を大切に、完成後も、地域の人たちと共に育てていく公園になるよう、市と市民を繋げていきたいと思ひます。



# ペーパーレス化 少しずつ進む

千葉市議会では、各議員がタブレット端末やパソコンでデータを閲覧し、できるだけ紙の資料配布を減らすことに取り組んでいます。今議会では、議案の説明資料をできるだけ画面上で見ることになりました。

ところが、説明を聞きながらメモを取る時、紙の方が便利と思う人もいることがわかりました。普段のパソコン使用頻度も人それぞれなので、ゆっくりでも50人皆で足並みをそろえてゴールを目指せたらと思います。(岩崎)

電磁波は目には見えませんが、私たちの身体に様々な影響を与えているといわれています。そこで、NPO法人市民科学研究室の上田昌文さんと一緒に、身近な場所の電磁波測定をしてみました。このたび、その結果について詳しくお話を聞く会を開きます。下記までお申し込みください。(ZOOM併用・参加費無料)

日時 8月2日(月) 14時〜16時  
場所 市民ネットワーク千葉 中央区中央4-10-11 アイビル4階

# 電磁波調査 報告会へのお誘い



# 議員とお話しませんか 市民と議員の意見交換会

日時：8月23日(月)  
10時半〜12時  
場所：千葉市議会1階  
応接室にて

\*感染症対策のため、マスクをつけてご参加ください  
\*事前にお申し込みください